

<http://www.asmo1.co.jp>



# Corporate Presentation

2020年3月期

## 決算説明

2020.5.14

**Code:2654**



商号

～活力ある企業風土を育成する～

# 株式会社アスモ

ASMO CORPORATION

事業方針

超高齢化社会を迎える日本において、  
多方面から必要とされる企業を目指して  
各事業の「**ストロングポイント**」を的確に見極め  
「**事業間のシナジー**」を最大限に発揮し、社会発展に貢献します。



企業概要

2020年3月末現在

設立  
資本金  
発行済株式数

1975年4月26日（3月決算）  
23億2,327万円  
15,145,175株（自己株式 1,124,512株）

代表取締役  
主要株主

代表取締役社長 長井 尊（2012年10月就任）※（株）Persons Bridgeの元代表  
※（株）Persons Bridge 58.4%（株）ベストライフ 10.9% 長井博實 7.7% 信託口合計 1.8%

収益セグメント

- 食肉卸売事業（①食肉の輸出入②食肉、食肉加工品の販売）
- 給食事業（介護施設、病院、事業所、学校などに向けた給食の提供）
- 介護事業（①訪問、居宅介護事業所の運営②有料老人ホームの運営）
- 外食(海外)事業（香港における外食店舗の運営）
- その他（①グループ会社の統制・管理、不動産賃貸 ②管理型信託商品の販売  
③少額短期保険商品の販売 ④台湾における外食店舗の運営）



連結子会社  
本社社員  
連結従業員

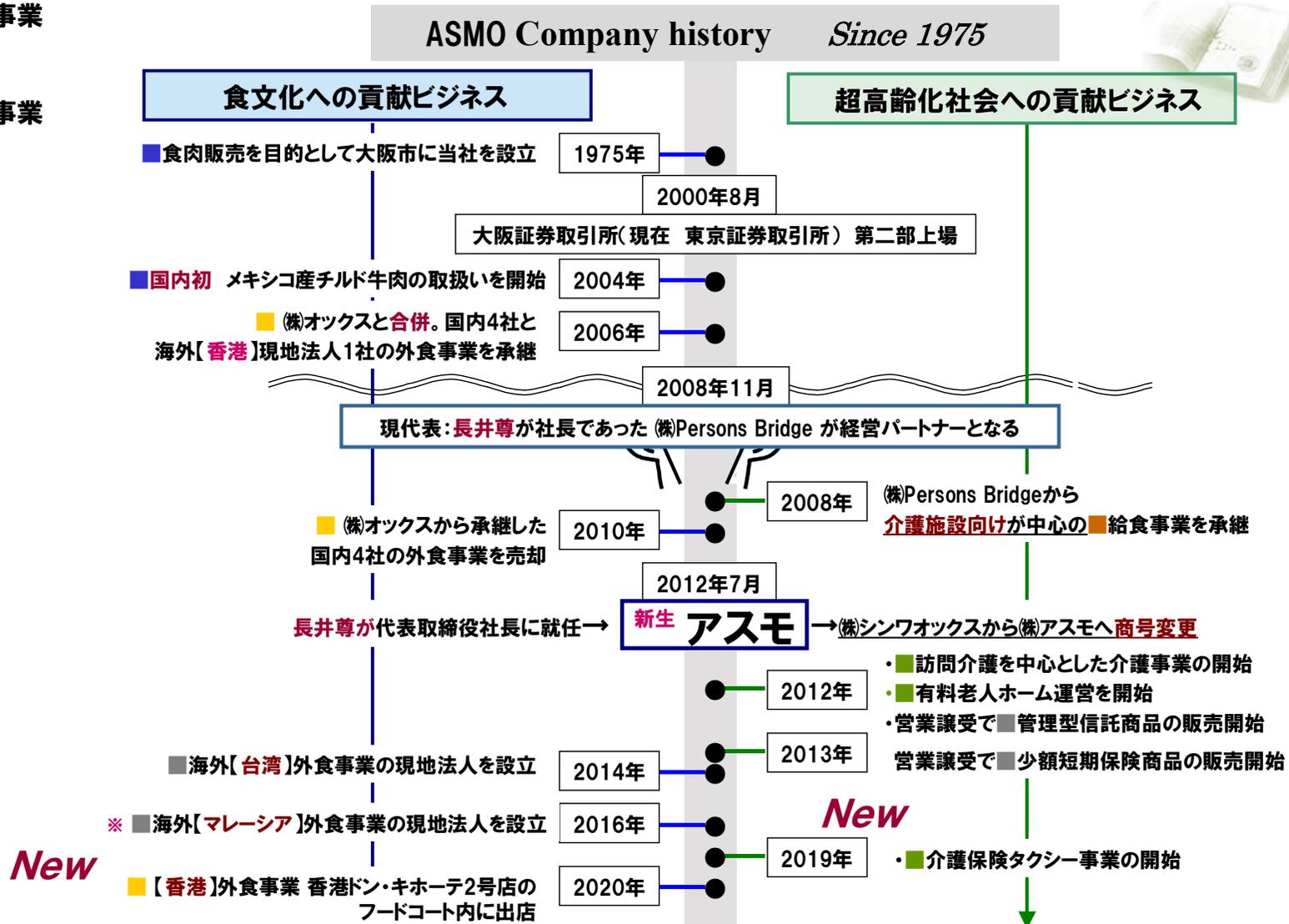
12社 ※詳細はP3をご参照  
【本社】東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階(2014年4月 大阪市住之区から本社移転)  
1,487名  
本社15名 食肉卸売事業16名 給食事業502名 介護事業819名 外食事業125名 その他事業10名

主要取引先

(株)ベストライフ BONA PRIME 丸大フード(株) 四国物産(株) (株)ハーモニック 各種の医療機関 / 社員食堂

“食文化の貢献”事業に加えて、2012年から“超高齢化社会への貢献”事業を展開中

- 食肉卸売事業
- 給食事業
- 介護事業
- 外食店舗事業



ご参考※ 海外【マレーシア】外食事業は非連結子会社

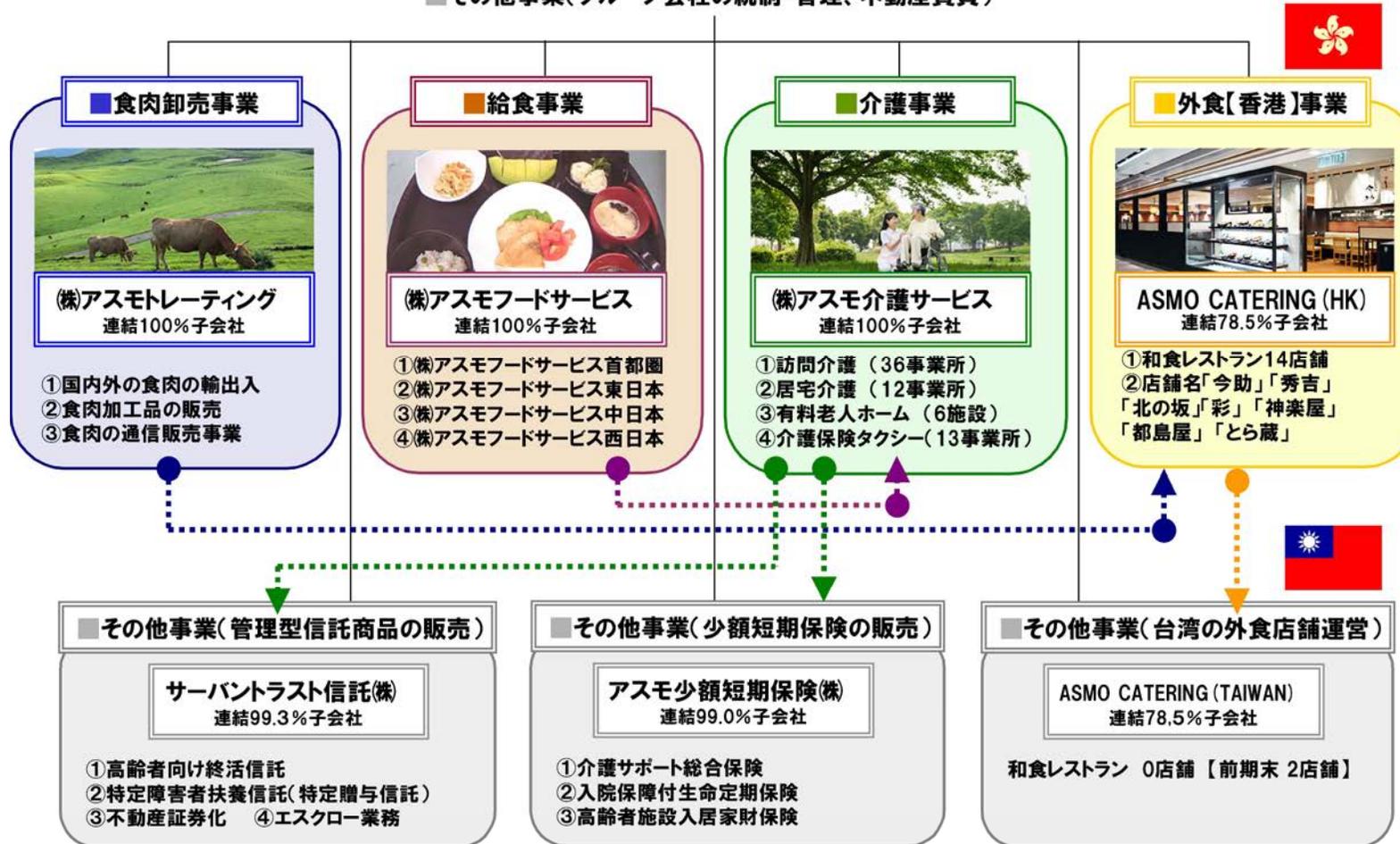
2013年4月～純粋持株会社体制

●……【事業間のシナジー効果】……▶

**アスモ**

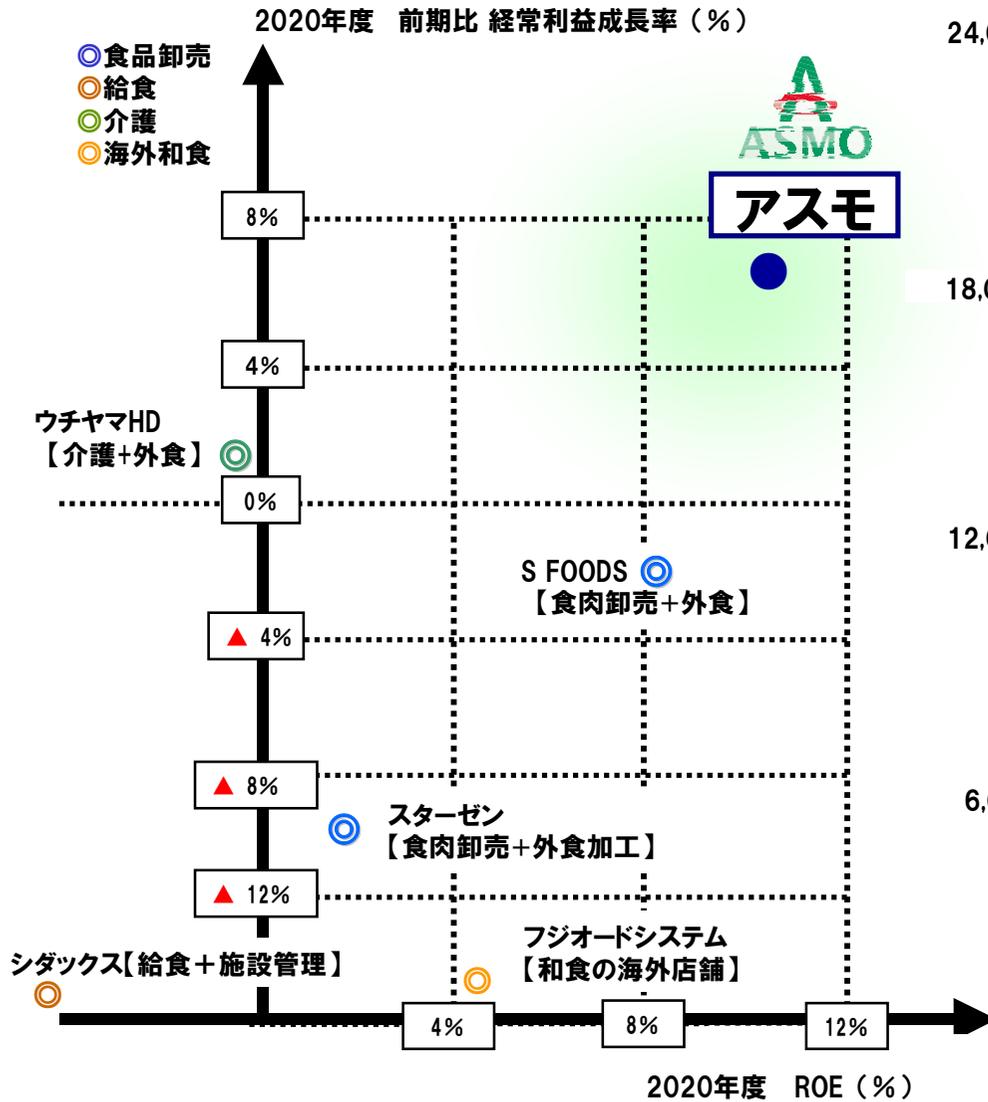
2020年3月末現在

■ その他事業(グループ会社の統制・管理、不動産賃貸)

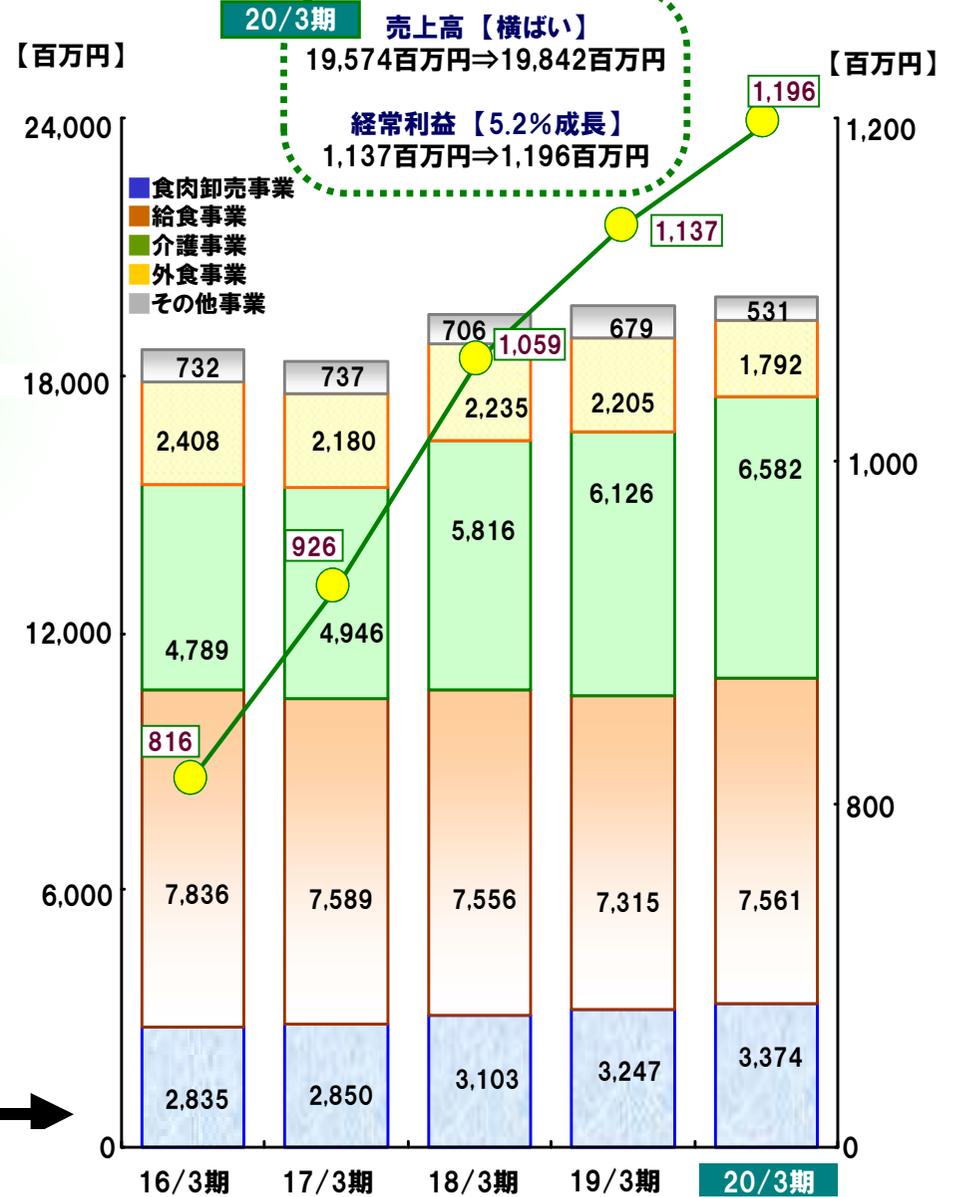


各事業の“ストロングポイント”を的確に見極め、“各事業間のシナジー”を最大限に発揮

2020年度 経常利益成長率【縦軸】とROE【横軸】  
 (複合型事業) 他社比較【連結ベース】



売上高【左軸】と経常利益【右軸】の推移



### 2020年3月期 前年同期比較

売上高	: 1.4%成長	19,842百万円【前年同期 19,574百万円】
営業利益	: 5.6%成長	1,183百万円【前年同期 1,120百万円】
当期利益	: ▲0.1%成長	673百万円【前年同期 681百万円】

### 20年3月期 セグメント別売上高

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	20/3期	前年同期比
■食肉卸売事業	3,247	3,374	3.9%
■給食事業	7,315	7,561	3.4%
■介護事業	6,126	6,582	7.4%
■外食(香港)店舗事業	2,205	1,792	▲18.7%
■その他事業	679	531	▲21.8%
売上高	19,574	19,842	1.4%

- メキシコ産牛肉の関税低下。販売価格への還元が高評価第3Q(累計)で前期比7.5%成長。第4Qは国際物流が停滞
- 高採算受託施設の契約獲得(前年同期比 7施設の増加)
- 雇用の安定確保に連動して介護支援契約の増加(前年同期比 73名増加)
- 香港の家賃高騰の影響。3店舗減の14店舗経営「大規模デモ」「新型コロナウイルス」で営業時間規制で減収
- 外食(台湾)店舗事業の2店舗閉鎖で減収

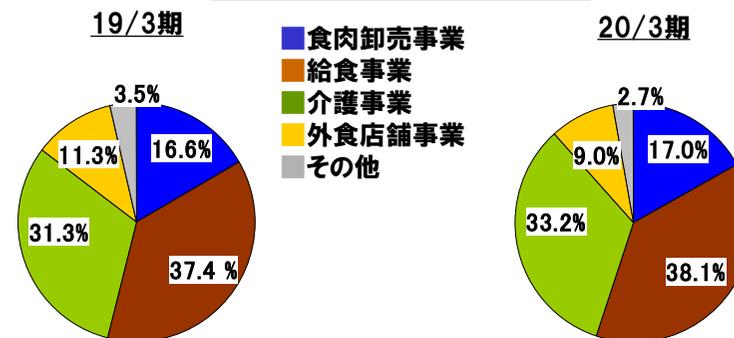
### 20年3月期 セグメント別営業利益率

期末ベース	19/3期	20/3期	増減
■食肉卸売事業	2.0%	2.4%	0.4%
■給食事業	7.2%	5.8%	▲1.4%
■介護事業	11.3%	13.8%	2.5%
■外食(香港)店舗事業	▲2.6%	▲7.3%	▲4.7%
■その他事業	8.7%	11.8%	3.1%
営業利益率	5.7%	6.0%	0.3%

- 高収益率 通信販売事業の売上高が、前期比 6.5%成長
- 人手不足による人件費の上昇 大型台風の影響で青果仕入価格の高騰
- 介護事業 特定処遇改善加算活用で賃金面の向上=社員の定着率向上
- 店舗のスクラップ&ビルド費用の増加
- 少額短期保険事業『転ばぬ先の杖プラス』の新規契約増加

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	構成比 (%)	20/3期	構成比 (%)
■ 食肉卸売事業	3,247	16.0%	3,374	17.0%
■ 給食事業	7,315	38.9%	7,561	38.1%
■ 介護事業	6,127	31.3%	6,582	33.2%
■ 外食店舗事業	2,205	11.3%	1,792	9.0%
■ その他事業	675	3.5%	531	2.7%
売上高	19,574	100.0%	19,842	100.0%
売上原価	14,926	76.3%	15,392	77.6%
売上総利益	4,648	23.7%	4,449	22.4%
販売管理費	3,528	18.0%	3,266	16.5%
営業利益	1,120	5.7%	1,183	6.0%
営業外収益	27	0.1%	25	0.1%
営業外費用	10	0.0%	12	0.0%
経常利益	1,037	5.8%	1,196	6.0%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%
特別損失	35	0.1%	19	0.0%
税金等調整前当期純利益	1,101	5.6%	1,177	5.9%
法人税・住民税及び事業税 法人税調整額・非支配株主損益	420	2.1%	503	2.5%
当期純利益	681	3.5%	673	3.4%

セグメント別売上高の構成比



労務费率・人件费率(対売上高比率)

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	構成比 (%)	20/3期	構成比 (%)
労務費(売上原価)	7,109	36.3%	7,431	37.5%
人件費(販売管理費)	1,647	8.4%	1,530	7.7%
合計	8,757	44.7%	8,962	45.2%



20/3期 販売管理费率の低下要因

【海外店舗数の減少による家賃・人件費の減少】

- 外食(香港)店舗事業 前年同期比 3店舗減
- 外食(台湾)店舗事業 19/3期第4Q 2店舗閉鎖

単位:百万円 以下切り捨て

【資産の部】	19/3期	20/3期	増減
流動資産合計	6,879	7,352	473
固定資産合計	1,469	1,525	56
資 産 合 計	8,348	8,877	529

(単位:百万円)	19/3期	20/3期	増減
現金及び預金	4,295	4,745	449
受取手形・売掛金	2,036	2,022	▲14
商品・貯蔵品	270	299	28

【負債の部】	19/3期	20/3期	増減
流動負債合計	2,523	2,372	▲151
固定負債合計	240	367	127
負 債 合 計	2,764	2,739	▲24

(単位:百万円)	19/3期	20/3期	増減
支払手形・買掛金	609	488	▲121
未払金	664	634	▲29
有利子負債※	57	239	181

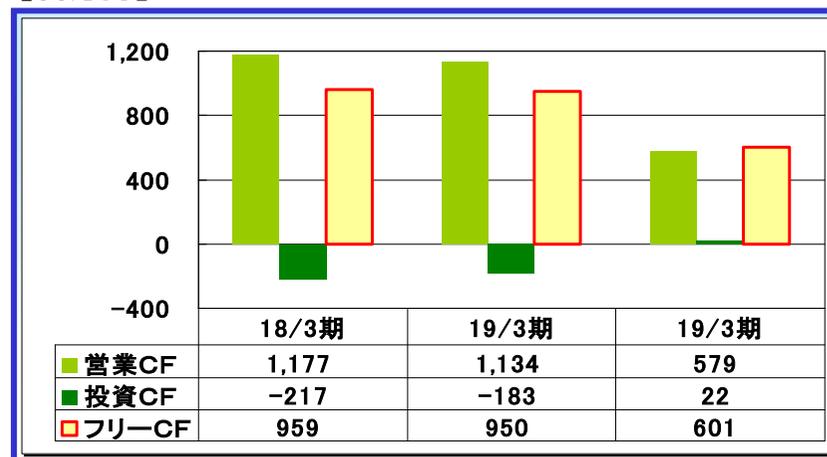
※ リース債務を含む

【総資産の部】	19/3期	20/3期	増減
株主資本	5,381	5,914	533
包括利益累計額	117	168	51
非支配株主持分	85	55	▲30
純 資 産 合 計	5,583	6,137	553

期末ベース	19/3期	20/3期	増減
自己資本比率	65.9%	68.5%	+2.6%

【CFの状況】	18/3期	19/3期	20/3期
営業活動によるCF	1,177	1,134	579
投資活動によるCF	▲217	▲183	22
財務活動によるCF	▲135	▲138	▲150
現金及び現金同等物 期末残高	3,402	4,225	4,675

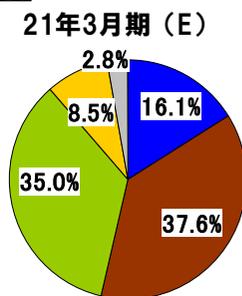
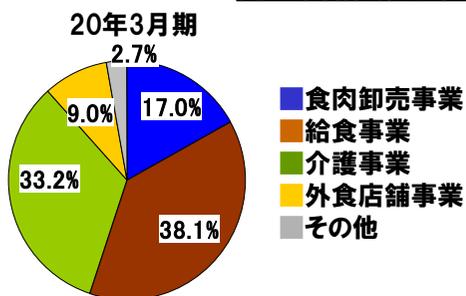
【百万円】 CFの推移(期末ベース)



### 2021年3月期 セグメント別売上高(予測)

単位:百万円 (切り捨て)	20/3期	21/3期(E)	前期比
■ 食肉卸売事業	3,374	3,320	▲1.6%
■ 給食事業	7,561	7,740	2.4%
■ 介護事業	6,582	7,200	9.4%
■ 外食店舗事業	1,792	1,760	▲1.8%
■ その他事業	531	580	9.1%
売上高 合計	19,842	20,600	3.8%

### 売上高構成比率(予測)



単位:百万円 (切り捨て)	20/3期	21/3期(E)	前期比
売上高	19,842	20,600	3.8%
売上原価	15,392	15,900	3.5%
売上総利益	4,449	4,700	5.6%
販売管理費	3,266	3,400	4.1%
営業利益	1,183	1,300	9.9%
経常利益	1,196	1,350	12.9%
当期純利益	673	800	18.7%

EPS(円)	48.0	57.0
ROE(%)	11.6	13.8
1株の配当金(円)	10.0	10.0
【配当性向】	【20.8%】	【18.9%】

### 2021年3月期予想

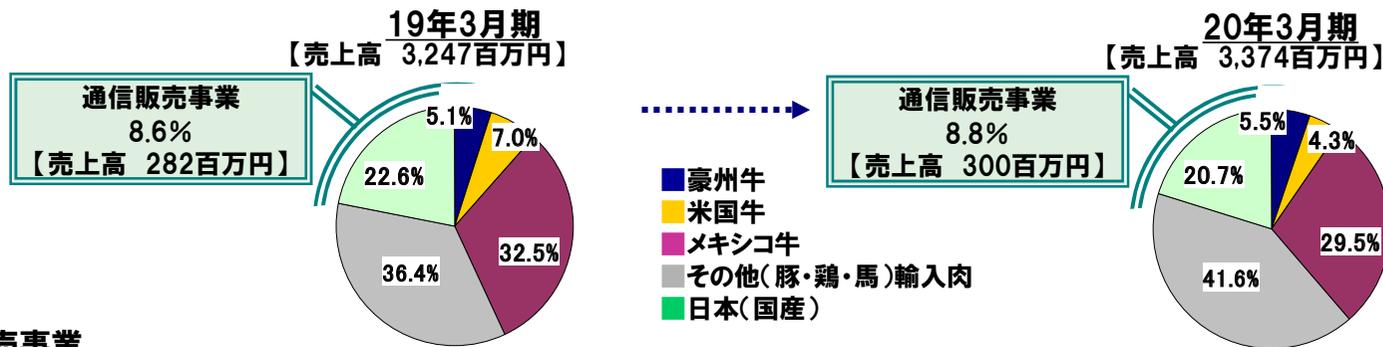
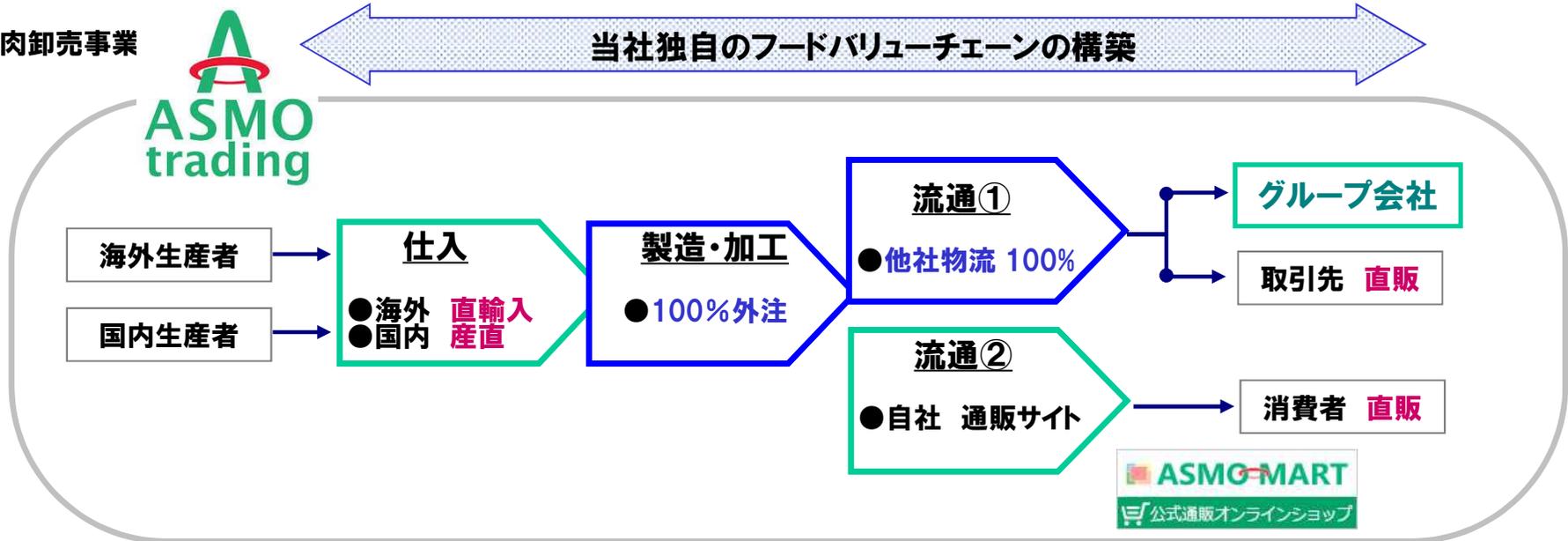
### 業績計画 Point



- 【1】 ■ 食肉卸売事業・・・ホテル・外食店の自粛営業で減収予測。通信販売事業の安定的成長に期待。
- 【2】 ■ 給食事業……………老人ホーム向けサービスが主軸であり、安定成長を予測
- 【3】 ■ 介護事業……………20/3期第2Qより、「介護職員等特別処遇改善加算」による加算で、増収予測。  
新型コロナ渦の中、「特別出勤手当の支給」を実施で人件費の増加を計画。
- 【4】 ■ 外食店舗事業………香港外食店の運営規制※で減収予測。反面、テイクアウト対応に注力。  
自社セントラルキッチンを活用した食品加工販売事業の顧客開拓を強化。
- 【5】 ■ その他事業……………少額短期保険事業の好調で収益率は上昇

※外食店舗の運営規制（客席数の50%稼働、4人席以上の同席禁止、客席間隔1.5m以上 等）

■ 食肉卸売事業



■ 食肉卸売事業

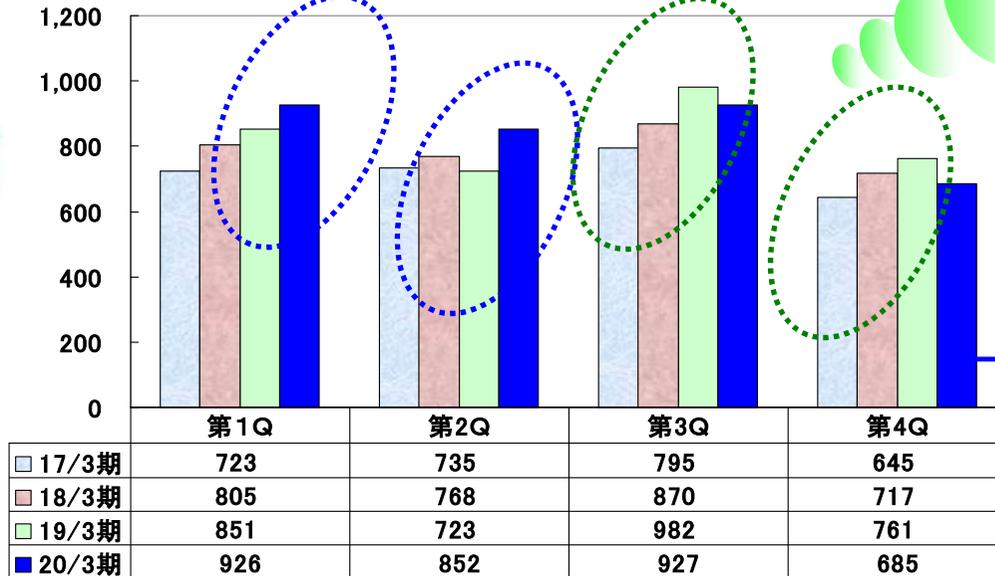
Strong Point

- 【1】 効率経営の徹底……………製造・物流部門を自社で持たず、経営資源を「仕入と営業」に集中
- 【2】 ジャストインタイム……………他社物流100%のアウトソーシング化。適切な数量、価格、時間にお客様へご提供
- 【3】 積極的な開発…………… 2004年6月 **日本初**メキシコ産チルド牛肉の取り扱いを開始
- 【4】 高品質管理の食品……………アスモグループの各事業の※マーチャンダイジング(MD)政策の基盤

※マーチャンダイジング(MD)  
「食品政策」「食品化計画」の欲求・要求に適う食品を、適切な数量、価格、タイミング等で提供するための企業活動



【単位:百万円】 ■食肉卸売事業 直近4期の四半期別売上高の推移



■2019年3月第3Q以降  
高付加価値商品が高評価

■2020年3月【上期】  
・メキシコ産チルド牛肉 安定的成長  
・通信販売事業が前期中間比 **21.1%成長**

■2020年3月【下期】  
・第3Q  
軽減税率の対象品目で**消費増税の影響なし**

・第4Q 新型コロナウィルスで**国際物流の停滞**

■高収益力の**メキシコ産チルド牛肉**の販売が好調



- 【1】商品価値(高品質・低価格)により顧客支持獲得
- 【2】不定期仕入を定期仕入に移行→安定供給を実現

■通信販売事業で自社開発の人気商品を創出

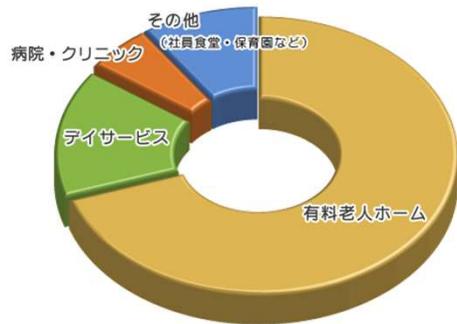


- 【1】魅力的な商品提案と営業努力により販売先拡大
- 【2】銘柄牛を使用したギフト用商品がヒット。増産体制へ

給食事業 【 介護施設向けが中心 】

ASMO アスモフードサービス

受託先の業種別売上高構成モデル



**高齢者福祉施設**  
 グループホーム・デイサービス  
 ショートステイ・ケアハウス  
 高齢者専用住宅・有料老人ホーム  
 介護老人保健施設 など



**病院・医療**  
 個人病院・総合病院  
 内科病院・神経科病院  
 精神科病院  
 産婦人科・障害者施設 など



**保育園・幼稚園**  
 乳幼児食  
 離乳食  
 アレルギー食  
 学校給食 など



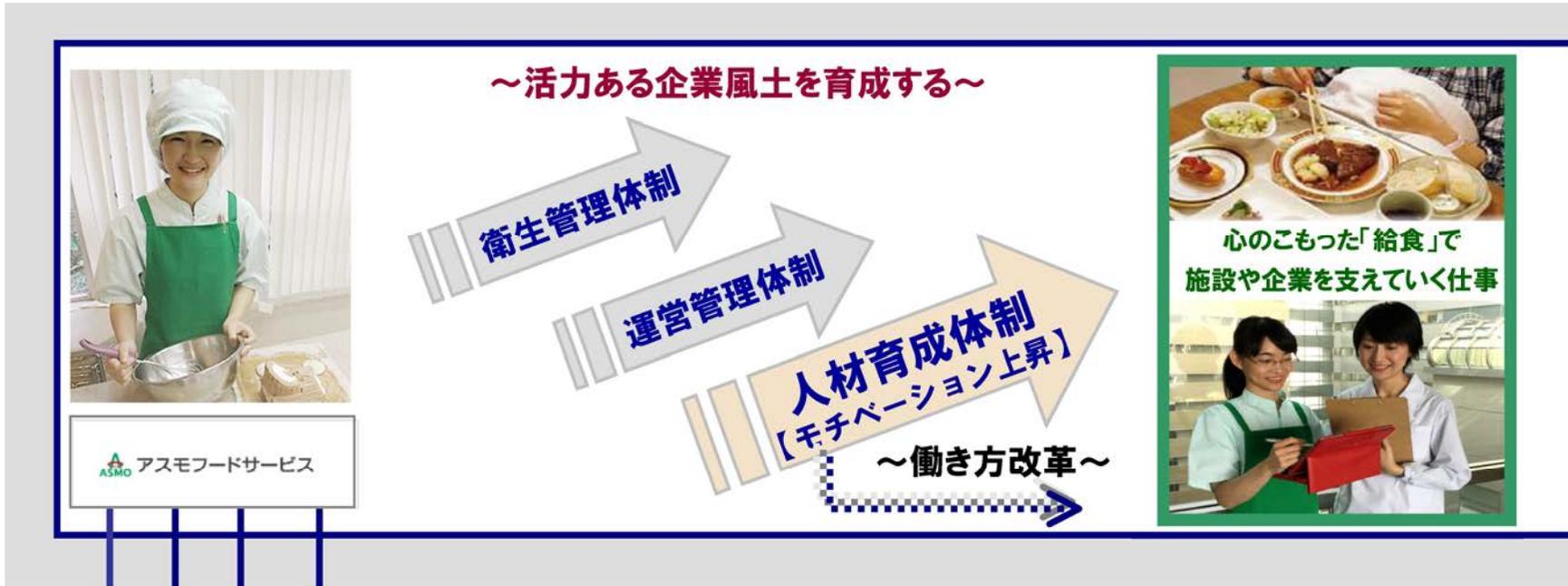
**Strong Point**

- 【1】超高齢化社会の中で「高齢者福祉施設」「病院・医療」が主要取引先で安定的成長
- 【2】女性の就業率上昇による「保育園・幼稚園」向けの需要の高まり
- 【3】CSR活動の一貫として「子ども食堂へ食材支援」のボランティア活動を実施



「子ども食堂」へ食材支援【CSR活動】





受託契約数の推移

エリア	19/3期	20/3期	増減
首都圏	86	87	+1
東日本	51	49	-2
中日本	54	53	-1
西日本	67	76	+9
合計	258	265	+7

衛生管理研修



マグロ解体ショー



握り寿司イベント



毎月の郷土料理シリーズ



～活力ある企業風土の育成～

- 【1】不採算取引の見直し……収益率の改善
- 【2】研修カリキュラムの充実……従業員のスキルアップ
- 【3】各種イベントの実行……モチベーションの上昇

### Strong Point Synergy

■給食事業



介護施設向け給食

■株主第2位

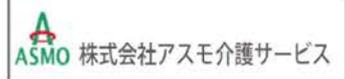


介護業界の大手  
全国174施設運営

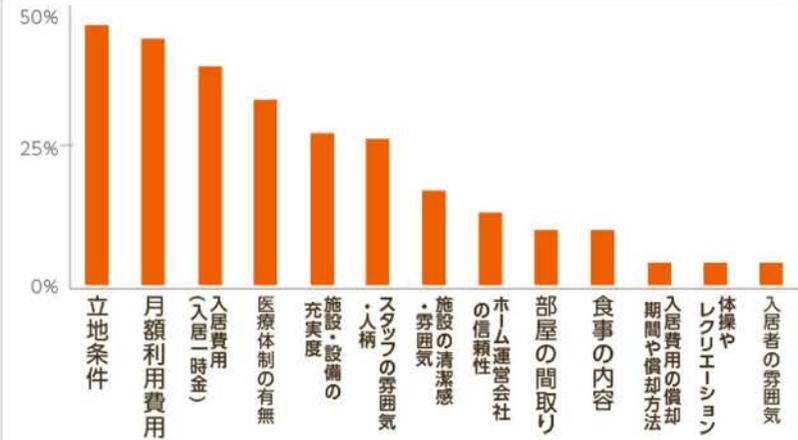
(2020年3月末 現在)



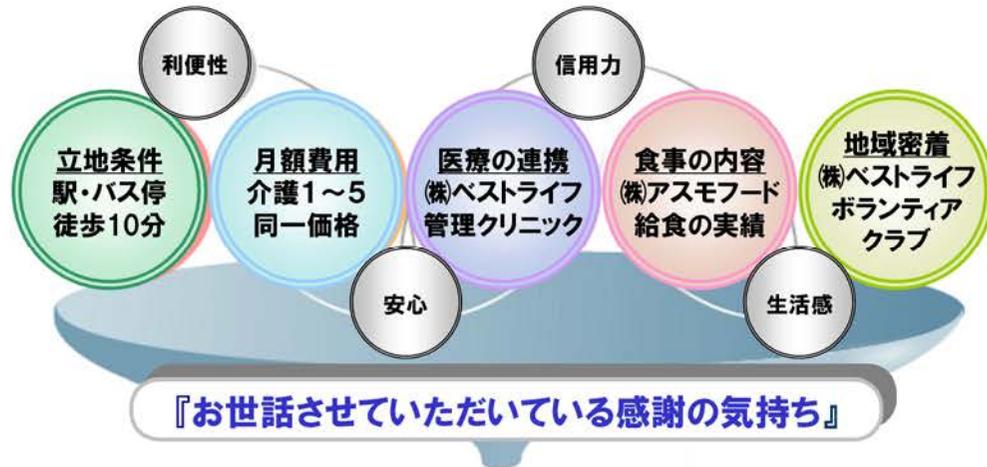
■介護事業



介護施設の選択基準アンケート【出所】LIFULL介護

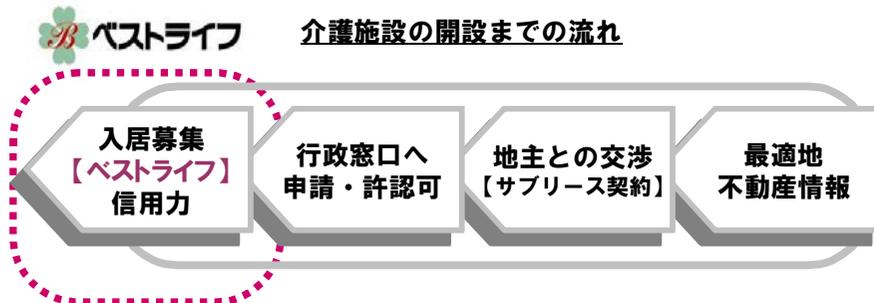
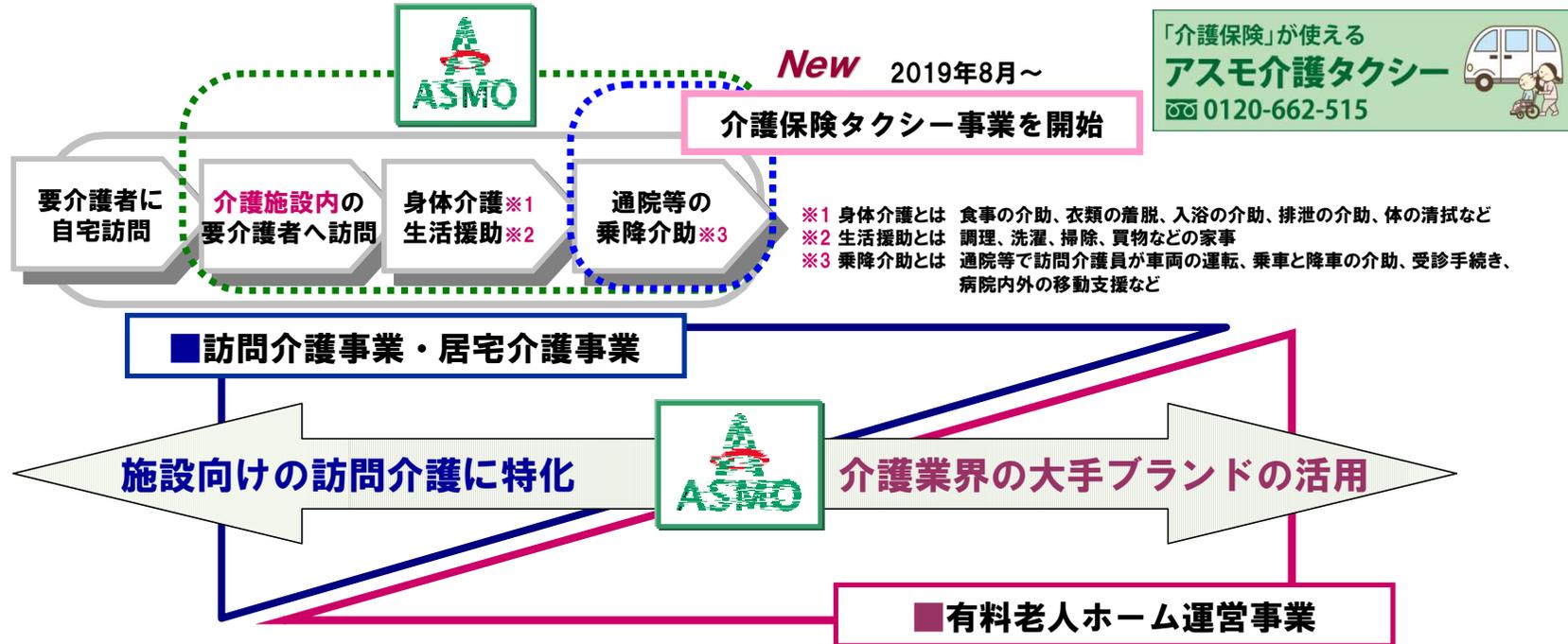


超高齢化社会時代の介護のプロ集団として品質を大切にしています



Strong Point

- 【1】業界大手の(株)ベストライフとFC契約を締結。ブランド力を活用して地域密着型介護を展開
- 【2】介護施設向け給食事業で培った食事面の満足度は高評価



～活力ある企業風土の育成～

■ 19年3月期から『働くお母さん応援プロジェクト』を開始  
 離職率の低下で人材募集費の削減効果を計画

■ キャリアパスと賃金体系の明確化  
 ■ 教育制度や資格取得補助制度の拡充  
 →社員モチベーションの向上→定着率UPを目指す

介護事業	18/3期	19/3期	20/3期
離職率	29.1%	22.8%	23.8%

※2019年10月以降、新設の「特定処遇改善加算」の活用により、今後更なる処遇改善を予定

■介護事業  
 事業活動  
 Point

■介護事業 介護事業所数の推移

2020年3月末 現在

期末ベース	19/3期	20/3期	増減
●訪問介護事業所	36事業所	36事業所	—
●居宅介護支援事業所	12事業所	12事業所	—
●介護保険タクシー事業所	—	13事業所	+13
介護支援契約者	2,017名	2,090名	+73

■介護事業 有料老人ホーム数の推移

期末ベース	19/3期	20/3期	増減
■有料老人ホーム施設	6施設	6施設	—
入居者数 (入居率)	335名 (86.7%)	331名 (85.7%)	-4

当社の有料老人ホーム施設

2014年10月～（千葉市）  
■①ベストライフ都賀 78室

2015年4月～（船橋市）  
■②ベストライフ船橋薬園台 87室



2015年8月～（川口市）  
■③ベストライフ鳩ヶ谷※ 52室

2016年10月～（横浜市）  
■④ベストライフ金沢文庫Ⅱ 45室



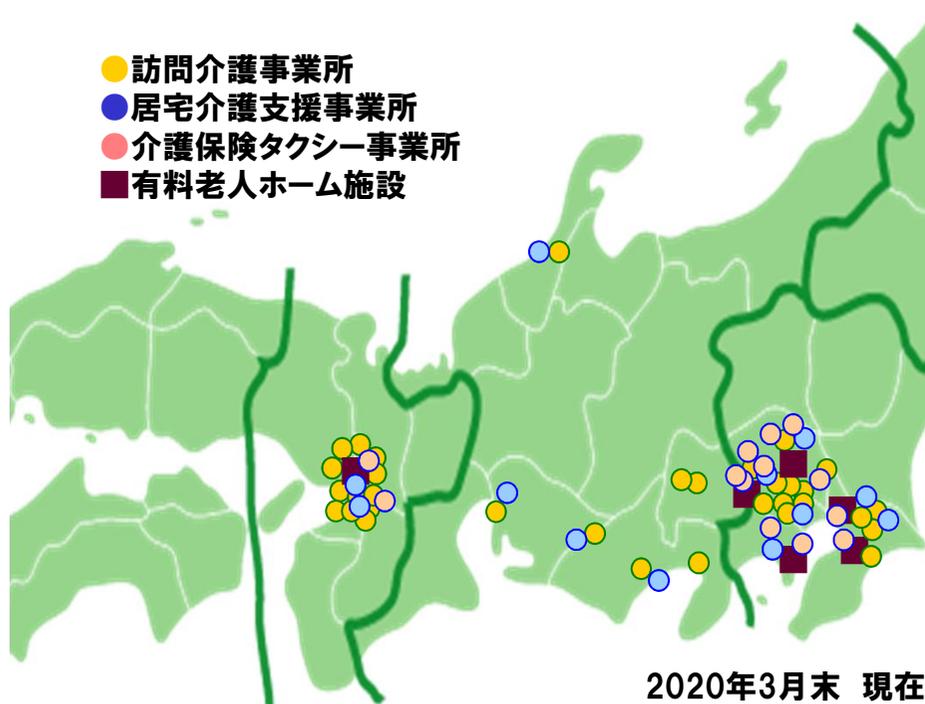
※上記施設は2017年3月から  
介護付き有料老人ホームとして営業開始。

2017年4月～（東京都）  
■⑤ベストライフ三鷹 64室

2017年6月～（大阪府）  
■⑥ベストライフ豊中 60室



- 訪問介護事業所
- 居宅介護支援事業所
- 介護保険タクシー事業所
- 有料老人ホーム施設



2020年3月末 現在

Strong Point Synergy

■ 食肉卸売事業

ASMO アスモトレーディング

海外の食材調達力



■ 外食店舗事業

ASMO ASMO CATERING(H.K.) COMPANY LIMITED 香港



香港で自社システムキッチンを保有している強みを活用！



香港の自社システムキッチン



香港に14店舗

Strong Point

香港で豊富な日本料理ジャンルをご提供できるトップクラス企業

- 【1】1985年5月から香港の現地法人が 外食店舗事業を継続中。高い信用力
- 【2】香港で自社システムキッチンの稼働
- 【3】香港は日本食品の輸出が急拡大しており、日本食材が確保しやすい



日本と香港は関わりが深い

香港に住む在留邦人数	2万5705人(2018年10月) 都市別で9位
在香港の日本企業数	1413社(19年6月) 中国企業に次ぐ2位
日本産農林水産物の香港向け輸出	2037億円(19年) 国・地域別で1位
香港からの訪日客	229万人(19年) 中国や韓国に次ぐ4位

(注)日本政府、香港政府の各種統計

2020年3月末 現在

メニュー	天麩羅・鮓・うどん	うどん・すき焼き	和惣菜	パスタ・オムレツ
店舗名	銀座 津波屋	今治屋	彩 SAYA JAPANESE DELICATESSEN 和惣菜	Cafe Restaurant KOZE KITAOKAZAKI 北の坂
店舗数	1店舗	2店舗	1店舗	2店舗※
メニュー	お好み焼き・たこ焼き	お好み焼き・たこ焼き	ラーメン・カツ丼・カレー	
店舗名	とら屋	都島屋 MIYAKOJIMA-YA	元祖 和風食堂	
店舗数	3店舗	1店舗	4店舗	

※2020年3月20日「北の坂」を新規に1店舗オープン



百貨店 店舗



2019年3月期

『店舗立地』見直し

ロードサイド店舗



大規模デモ・新型コロナウイルスの深刻化



※上記はイメージ画像

2020年3月期

食品加工販売事業の強化  
テイクアウト需要に対応



香港の自社システムキッチン



和惣菜『彩』



事業活動  
Point

外食店舗事業

- 【1】初期コストが少ない「フードコート出店路線」にシフト
- 【2】自社セントラルキッチンを活用した食品加工販売事業は堅調

香港の店舗数	18/3期	19/3期	20/3期
百貨店 店舗	20	14	11
ロードサイド 店舗		3	3
合計	20	17	14

“香港で大人気！日系大手の新業態 商業施設” に “集客力向上を期待できる” フードコート店をオープン

(株)バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

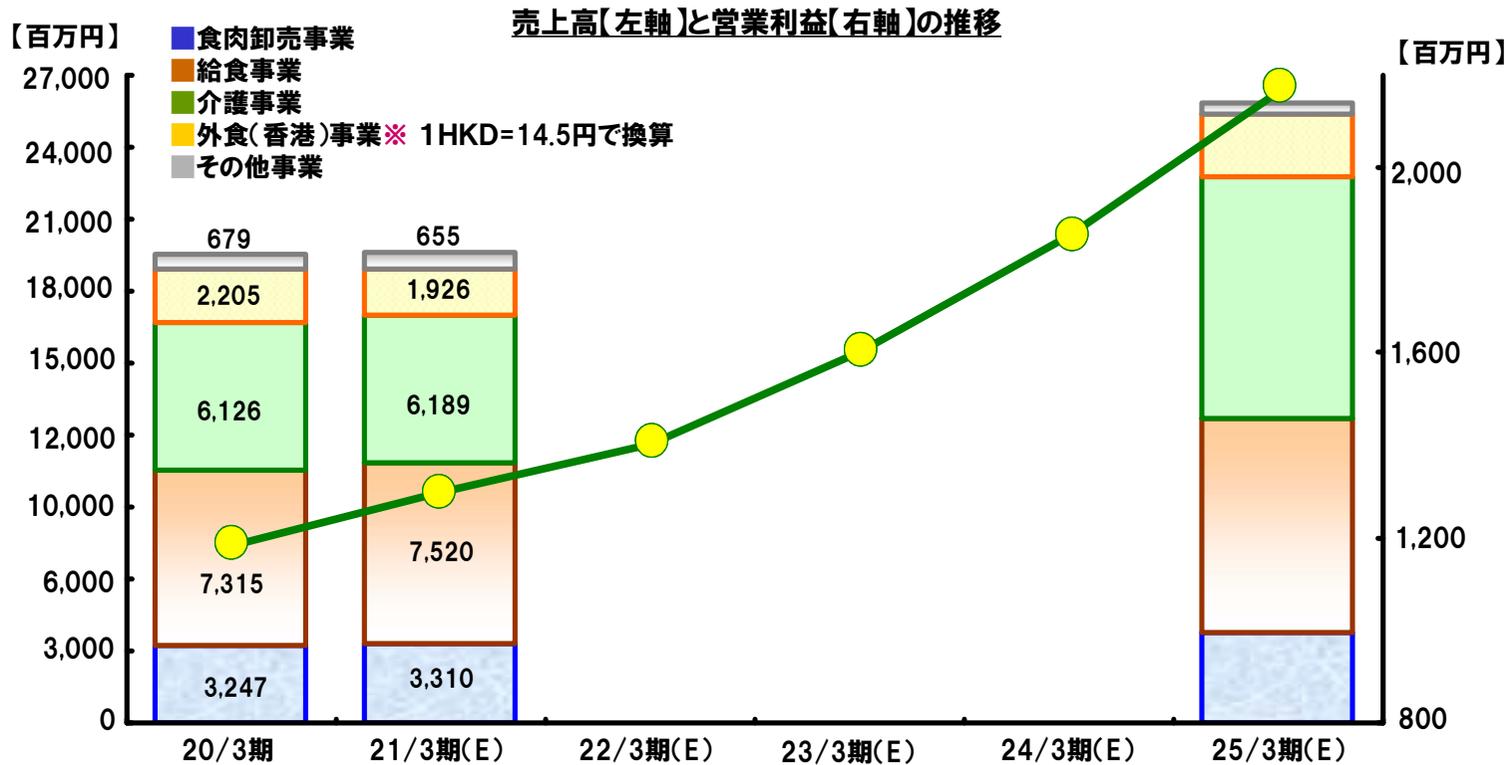
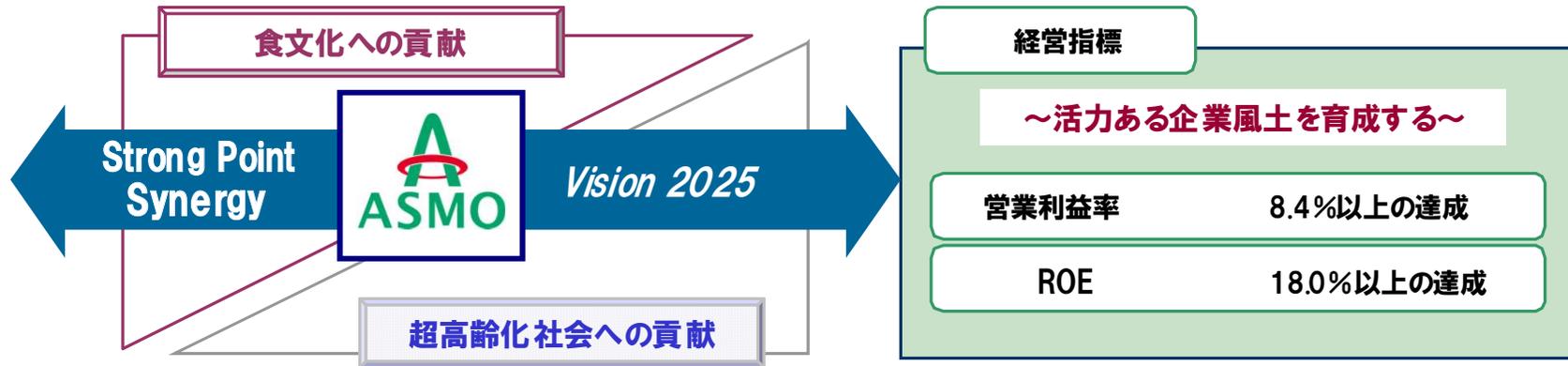


2020年3月14日  
*New*

■外食店舗事業



店舗概要	
【1】運営会社	ASMO CATERING (HK)
【2】店舗名	神戸北の坂
【3】主なメニュー	パスタ、ドリア、ソフトドリンクなどの洋食
【4】所在地	2/F OP Mall, 100 Tai Ho Road, Tsuen Wan, New Territory, HongKong DON DON DONKI OPモール本店 フードコート内
【5】交通	地下鉄West Rail 線「Tsuen Wan West」駅直結



ご注意:上記の中期利益計画は現在の当社の目標であり、確約するものではありません。



各事業の“ストロングポイント”を的確に見極め、“各事業間のシナジー”を最大限に発揮



お問い合わせ

[ir@asmol.co.jp](mailto:ir@asmol.co.jp)

本社：〒105-0013 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階  
TEL. 03-6911-0550 FAX 03-6911-0551

本資料は、2020年3月期 本決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。  
また、本資料は2020年5月14日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、  
安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。